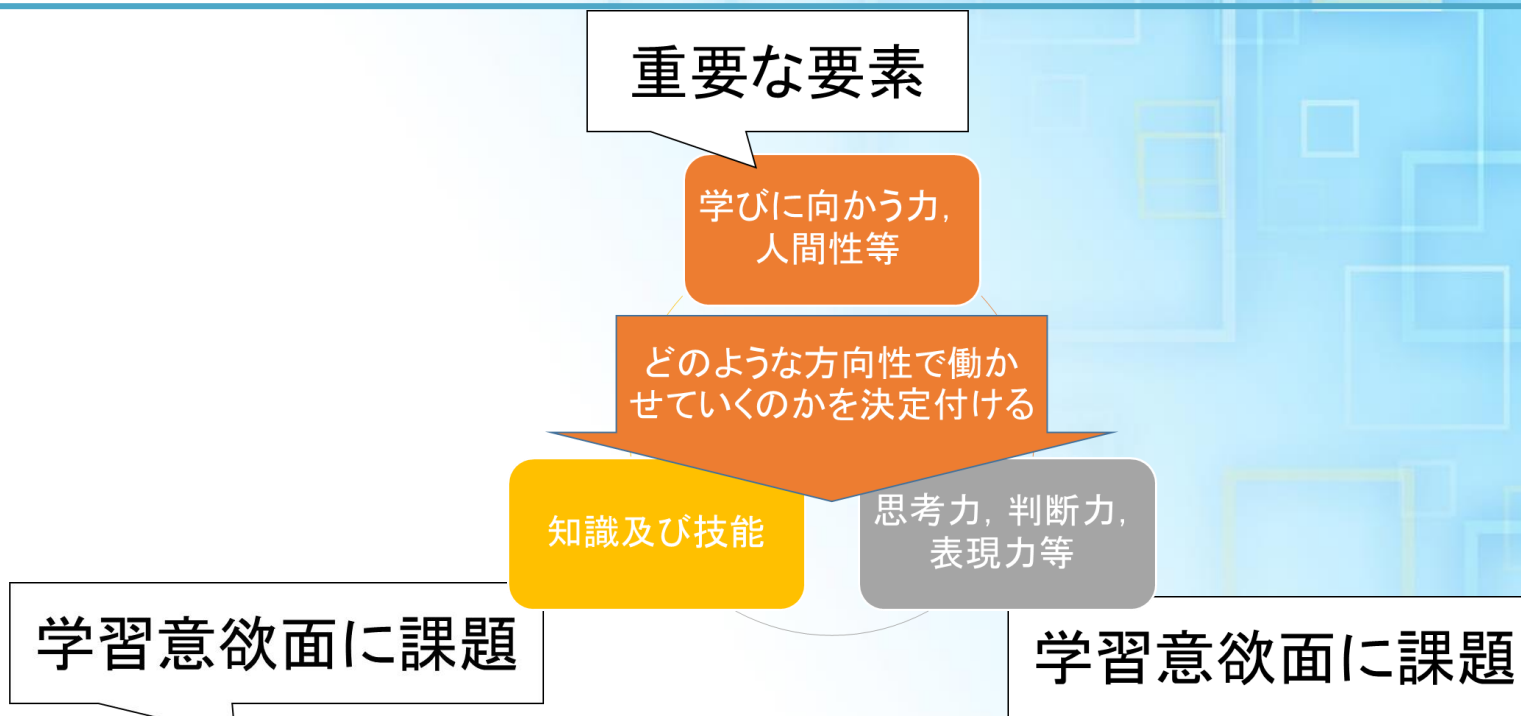


2月23日実施の理科モデル授業 概要説明

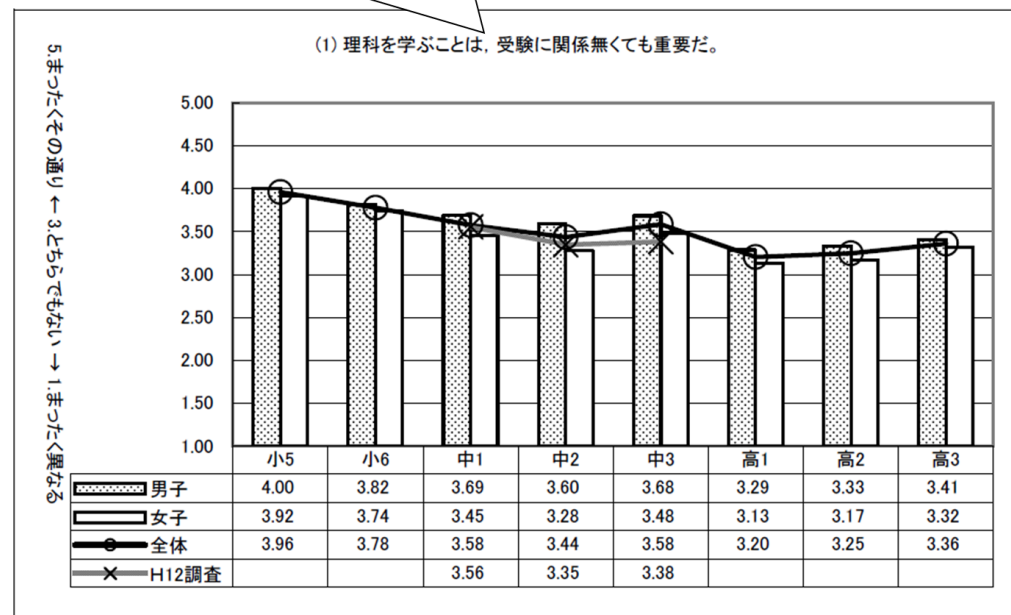
意識面に対する取組の必要性



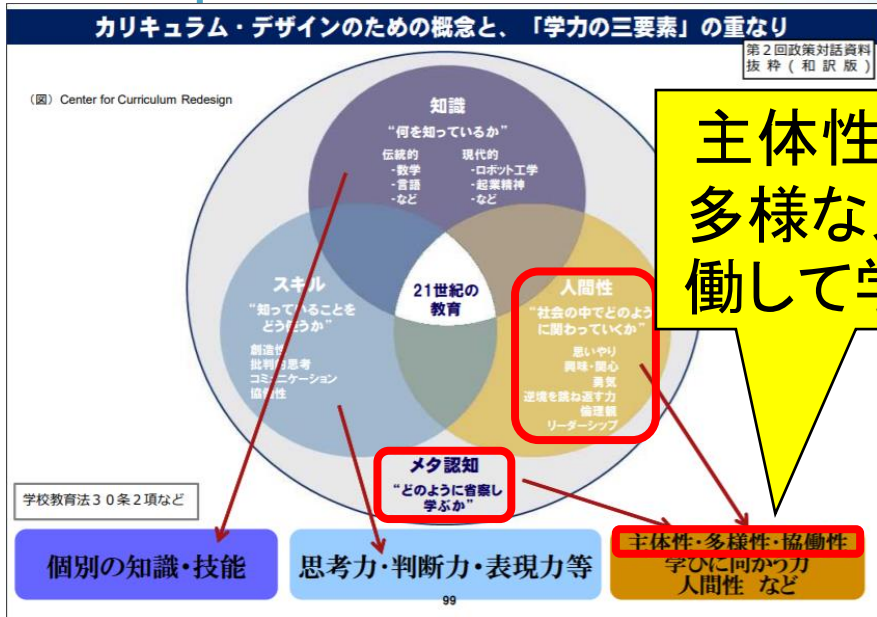
数学・理科の学習に対する生徒の意識 —TIMSS2015質問紙調査結果から—
 ◆改善が見られる一方、国際平均に比べて、日本の中学生は学習の楽しさや実社会との関連に対して肯定的な回答をする割合が低いなど、引き続き学習意欲面で課題がある。

※ 生徒質問紙調査(対象:中学校2年生)において、下記項目につき、「強くそう思う」、「そう思う」と回答した生徒の割合の合計

	数学		理科	
	日本	国際平均	日本	国際平均
数学・理科の勉強は楽しい	52%	71%	66%	81%
数学・理科を勉強すると日常生活に役立つ	74%	84%	62%	85%
他教科を勉強するために数学・理科が必要	67%	80%	36%	73%
志望大学に入るために良い成績が必要	73%	85%	59%	77%
将来望む仕事につくために良い成績が必要	65%	81%	51%	72%
数学・理科を使うことが含まれる職業につきたい	21%	52%	25%	60%



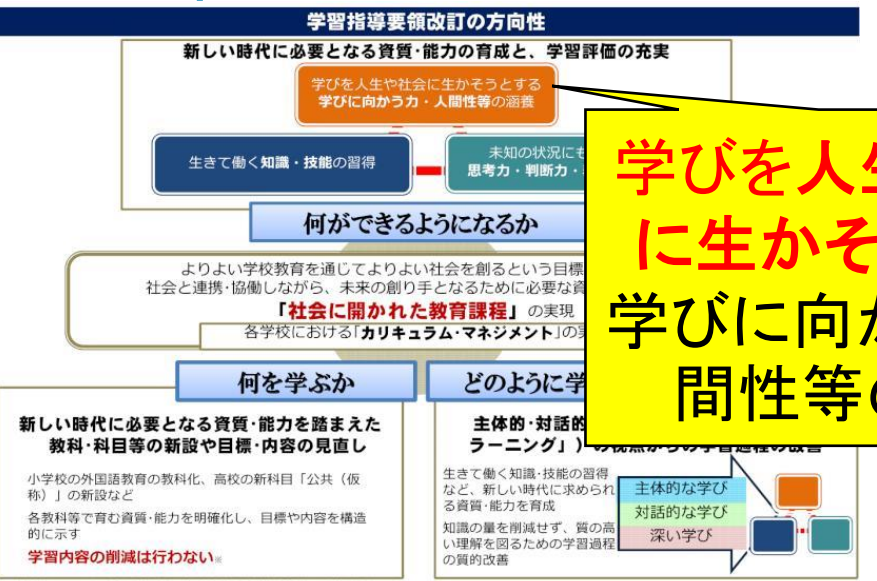
意識面に対する取組の必要性



主体性をもって
多様な人々と協働して学ぶ態度

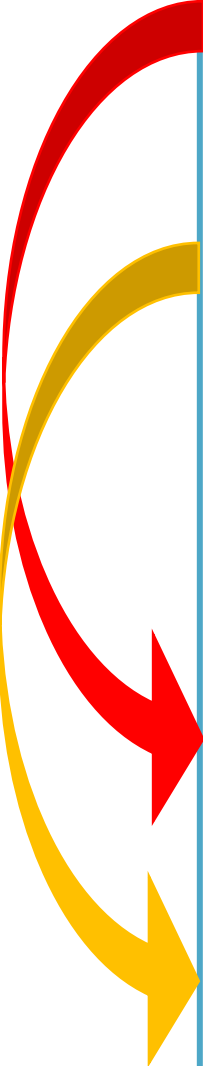
小倉(2020)が示す学びに向かう力・人間性等の目標のタイプ

	目標のタイプ
学びに向かう力・人間性等	「自己効力感(自信)」
	「興味・関心」
	「重要性」
	「有用性」
	「職業との関連性」
	「主体性」
	「協調性」



学びを人生や社会
に生かそうとする
学びに向かう力・人
間性等の涵養

※良質な教育については、従来の事象的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を促した高大接続改革等を進める。



児童自身に行動目標を自己決定させた上で問題解決の過程に取り組みせると共に、学習したことが日常生活と関連していることを活用として扱う授業を設計し実践すれば、児童の学びに向かう力・人間性等を育むことができるだろう。

手立てⅠ…児童の自己決定による意識づけ

手立てⅡ…活用場面の設定

意識面を高めるために

問題解決の流れ	児童の具体的な活動
導入・問題設定	生活場面や学習での疑問から問題を設定する
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">手立てⅠ</div> 予想・仮説 方法 観察・実験 考察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決場面で活動（話し合いや実験・観察）する際の主体性，協調性に関する行動目標を自己決定する ・ 活動の見通しをもった上で活動に取り組む ・ 行動目標の達成状況について自己評価する
結論	問題に対する結論をまとめる
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">手立てⅡ</div> 活用	本次の内容と 日常生活との関連 を「重要性」「有用性」「職業との関連性」の視点から学ぶ

設計した指導法

【話し合い場面】

- ①－1 自分の考えを友だちに伝えようとする姿
- ①－2 自分の考えと比べながら聞こうとする姿
- ①－3 友だちにその考えについて確認したり，質問したりしようとする姿

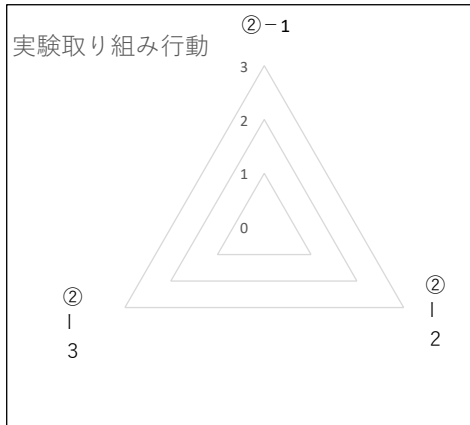
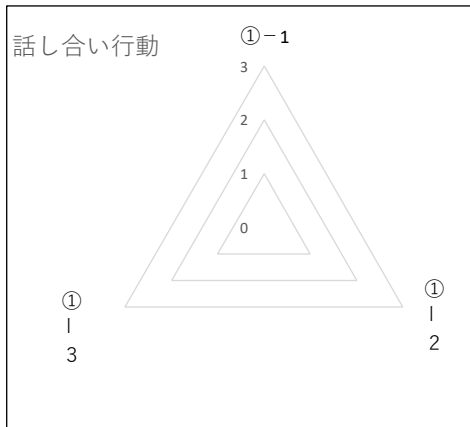
【観察・実験場面】

- ②－1 自分から進んで観察・実験に参加しようとする姿
- ②－2 結果の見通しをもちながら観察・実験しようとする姿
- ②－3 確かめの観察・実験をしようとする姿

設定した行動目標「がんばりたい姿」

がんばりたい姿一覧

組 班 番 名前



自分のステータスを見て、経験値を伸ばした方がいいところを自分で決めて経験値アップを目指そう！△を○に、○を◎にできるように設定していくと経験値アップしやすいと思うよ。

△⇒あまり行動できていない

○⇒ほとんど行動できている

◎⇒いつでも自信をもって行動できる



	△…1P	○…2P	◎…3P	最初	/	/	/	/	/	/	/	/	/	最後
① 話し 合い 行 動	①-1	自分の考えを友だちに伝えようとする姿。												
	①-2	友だちの考えを、自分の考えと比べながら聞こうとする姿。												
	①-3	友だちに友だちの考えについて確認したり、質問したりしようとする姿。												
② 実験 取 り 組 み	②-1	自分から進んで実験に参加しようとする姿。												
	②-2	実験結果の見通しをもちながら実験しようとする姿。												
	②-3	確かめの実験をしようとする姿												

設定した行動目標「がんばりたい姿」